

1. 件名：高浜発電所4号機 「PR 中性子束急減トリップ」信号による原子炉自動停止
2. 日時：令和5年3月3日 13時55分～14時50分
3. 場所：原子力規制庁2階打合せスペース（テレビ会議システムを利用）
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 検査グループ 実用炉監視部門

村田統括監視指導官、菊川管理官補佐、小野上級原子炉解析専門官、小林主任
監視指導官、林原子力規制専門員

高浜原子力規制事務所

城内原子力運転検査官、高岡原子力運転検査官

福井地域原子力規制総括調整官事務所

西村地域原子力規制総括調整官

関西電力株式会社（以下「関西電力」という。）

原子力事業本部 原子力発電部門 原子力保全担当部長 他16名

5. 要旨

- (1) 令和5年1月30日に発生した高浜発電所4号機の「PR 中性子束急減トリップ」信号による原子炉自動停止について、同年2月27日の面談以降に判明した事実を含めて関西電力から資料に基づき以下のとおり説明があった。
 - 2BD パワーキャビネットからコイル間において電流低下が確認された可動つかみコイル又は固定つかみコイルの駆動回路について、2BD パワーキャビネットからコイル間を4区間に分離し電流変化を連続監視した結果、当該コイルの一部で原子炉格納容器貫通部の端子箱と端子箱の間で電流低下が確認された。
 - この電流低下の原因については、現在調査中である。
 - 本事象に対する原因と対策に係る報告書について、来週中に提出する予定である。
- (2) 原子力規制庁から、3月7日に開催する公開会合で内容を聴取する旨伝えた。また、公開会合までに原因と対策に係る報告書が提出された場合には、その内容も併せて聴取する旨伝えた。

6. 提出資料

資料1：高浜発電所4号機 原子炉自動停止について（概要版）

以上